

第21回

拝宮農村舞台公演

2025年

10月4日
(土)

11時
30分

白人補佐秋祭
車樂明録
拝宮初落



第21回拝宮農村舞台公演 2025/10/4(土)開催! 入場無料!



■田上ひろし

那賀町(旧上那賀町)小浜出身。1979年、三宅裕司を中心に「劇団エキセントリックシアター」を創設する。以来、舞台・テレビ・ラジオ・CM等、各方面で活躍中。ニッポン放送ラジオ「三宅裕司サンデーヒットパラダイス」中継名物コーナー【田上が走る】(92年放送スタートし今年で33年目)



■あすなろバレエスタジオ(檜 瑛司創作舞踊研究所)

江戸末期より続く日本舞踊を源流に、1946年に檜 瑛司が徳島で舞踊活動を始め、1948年に檜 瑛司創作舞踊研究所を創設。1989年にあすなろバレエスタジオをして檜千尋が受け継ぎ、桧 菜香へ継承。後進育成や舞台芸術の発展に尽力している。また、檜 瑛司は50年近く前に拝宮を訪れ、神踊りを取材しており、神踊りの復活や芸能を取り入れた創作にも土地の人と共に取り組んでいた。

■丹生谷清流座

2009年、那賀町の青年団員を中心に結成された人形浄瑠璃座。勘六氏の指導のもと、県内各地の農村舞台、阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルなど多くの公演に参加し、人気を博す。2013年「とくしま集落再生表彰・優秀賞」「阿波文化創造賞」2017年「過疎地域自立活性化優良事例表彰・総務大臣賞」受賞。2020年3月「第24回ふるさとイベントキラリ賞」受賞。最新情報はfacebookをチェック。



■那賀高等学校人形浄瑠璃部

平成26(2014)年4月発足以来、学校祭や那賀町内の農村舞台公演等で傾城阿波の鳴門巡礼歌の段、えびす舞を披露するなど、多くの方々に支えていただきながら活動してきた。

■拝宮 車樂(だんじり)

拝宮「白人神社」例祭時、山車で披露されていた「車樂唄」。打ち子は太鼓・小太鼓・締め太鼓・鉦・鼓を務め、8名で構成。リズムはゆっくり、挿入唄はなんとも色香が感じられる歌詞である。

～秋の玉垣夜書をなしに拝まんせ 秋のすすきの営みは
はこぶ妹背の にぎわいは 拍子そろへ はてがみさみ
神漏岐とは 真柴垣の ましたなりふりかは
たけの 縁に 光る名も可愛らしき 恋の生命は 初時鳥
月の影さえ 懐かしき 二度の逢瀬は 時雨の紅葉
見ればそのまま 顔に陽が高いも低いも 恋(いろ)の道
後は たがいに 行くとさえも 袖に別る 留置の香り～



※この唄の意味と一緒に
考えてみてください

- 出演者：田上ひろし・あすなろバレエスタジオ・丹生谷清流座・那賀高等学校人形浄瑠璃部・拝宮白人神社氏子
- 主催：拝宮谷地域まちづくり協議会・拝宮谷農村舞台保存会 ●助成：徳島県とくしま文化・未来創造支援
- 協力：那賀町・那賀町教育委員会・那賀町農村舞台再生協議会・晴れたら空に豆まいて
- お問い合わせ：那賀町教育委員会 TEL0884-62-1106・那賀町役場上那賀支所 TEL0884-66-0111